

2

琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏

○京阪神大都市圏と琵琶湖・淀川の水

- () : 京都・大阪・神戸を中心に広がる都市圏
→ 大阪市を中心に鉄道や道路が周辺に延び、沿線に市街地が広がる

京阪神大都市圏の人口増加

- 住宅地が不足し、1960年代から郊外の丘陵地に()が建設される
例) 千里^{せんり}・泉北^{せんぼく}・須磨^{すま}などのニュータウン

琵琶湖・淀川の水：流域で暮らす 1700 万の人々の生活を支える

○琵琶湖の水を守る取り組み

琵琶湖の水質：1970年代からプランクトンの異常発生など、水質が悪化

- 原因となるりんを含む合成洗剤の使用中止
りんを含まない粉せっけんの使用の呼びかけ
滋賀県で下水道の整備・工場廃水の制限
→ 琵琶湖に流れ込む物質が徐々に減少
→ 近年、水質を改善するための取り組みが行われる
例) 湖岸にヨシの苗を植えるなど

○水の都、大阪

大阪：近畿地方の中心都市で、「水の都」や「天下の台所」と呼ばれる

- 中心部に堀川と呼ばれる運河が張りめぐらされている
琵琶湖や淀川、瀬戸内海を利用した船の行き来が盛ん
→ 全国の米や特産物を売買する商業が発展
→ 近年、観光遊覧船や道頓堀川^{どうとんぼり}の環境の整備などの取り組みがみられる